あおい通信 第175号

第175号　令和元年12月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区東大泉3－17－5
カトウビル3F
電話　03－3978－0919

日本三大〇〇「大阪城」

日本三大〇〇めぐり

前号までの日本八景は全て紹介しましたので、今号から日本の三大〇〇と称する名所旧跡等で興味深い事項を選別して記述します。以降紹介する記事の多くは、具体的・統計的な調査に基づく番付の上位の三つではなく、宣伝文句のために勝手に名乗っているだけのローカル色が強いケースも多く、例示される一つ目や二つ目が三大〇〇と名乗るケースは少ないことも有ります。

初回の今号は「三大」ではなく「三名城」の姫路城、名古屋城、大阪城から紹介しますが、姫路城は以前一〇二号で紹介していますので省きます。

大阪城

概要

「太閤はんのお城」と親しみを込めて呼ばれることもあるが、１５８３年（天正11年）から１５９８年（慶長３年）にかけて豊臣秀吉が築いた大阪城（豊臣大阪城）の遺構は、現在全て埋没している。

現在地表に見ることのできる大阪城の遺構は、１６２０年（元和６年）から１６２９年（寛永６年）にかけて徳川秀忠が実質的な新築に相当する修築を施した大阪城（徳川大阪城）の遺構である。１９５９年（昭和34年）の大阪城総合学術調査において、城跡に現存する櫓や石垣などもすべて徳川氏、江戸幕府によるものであることが確認された。

徳川政権は豊臣氏築造のものに高さ数メートルの盛り土をして縄張を改め再建した。その後、江戸幕府が大阪城代を置くなど近畿地方、および西日本支配の拠点となった。文献等にもよるが、日本三名城のひとつに数えられる場合もある。

現在は江戸時代初期から後期にかけて建てられた櫓や門、蔵など13棟が現存し、城跡は71万平方メートルの範囲が国の特別史跡に指定されている。天守は１９３１年（昭和６年）に鉄骨鉄筋コンクリート構造によって復興された物であるが、現在登録有形文化財となっており、博物館「大阪城天守閣」として営業している。ちなみに、「おおさかじょう」の表記についてであるが、近代以降「大坂」を「大阪」と表記するように改まったため、現在は「大阪城」と表記することが多い。なお「大阪城」は大阪市の町名にもなっている。

ゆめまるくん

東西南北

大型台風１９号

石垣に囲まれた沖縄の古民家は美しく、観光資源になっている。だがそもそも石垣の掘が盛んに造られたのは、風よけのためだという。現代の建築用語に改めれば、「防風壁」である。いざ台風となると、沖縄では人の働きも早い。観光客でにぎわう那覇市・国際通りの公設市場（仮移転中）が、風強まる前に迷わず機敏に店を閉じる光景はおなじみである。暴風に防風。強い風へ防災観念がしっかりと根付く沖縄を、模範にすべき近年の気象状況だろう。

大型で猛烈な台風19号では、気象庁が「３日前会見」を開いて最大現の警戒を呼びかけた。レジャーの計画を見直す方もあっただろう。商業施設は営業をどうするか。鉄道各社も計画運休を避けて通れない。苦渋を伴うとしても、人の命を守るための石垣と思いたい。

K・ドラゴン

談話室

２０１９年５月平成から令和に改元され全国民が祝辞にわいた令和元年も師走を迎えた。

瞬間的な６ヶ月の元年でした。

誠に残念ながら夏の終わりから秋口の時期には大きな災害が起きた。関東地方、千葉県では15号台風による強風で多くの家屋破壊、停電、断水、その被害さえ回復もままならぬ間に次の大型19号台風（特徴として発生後まもなく猛烈な勢力に発達しその後北上しても大きくは勢力が弱まらず、本州に接近するまで非常に強い勢力を保ったままであった）が想定外の短時間に多量降雨をもたらし、関東地方、千葉、神奈川、茨城、栃木、や近県、福島、岐阜東北方面も河川氾濫、堤防決壊で家屋は床上浸水に見舞われ、死者11人、避難民多数の犠牲者が出てしまった。

沖縄では世界遺産の首里城の主要な建物（南殿、北殿、正殿、他）が全焼した。県民のシンボルを焼失した事の沖縄県民の心痛は全国民の総意にも等しい苦痛と損失であった。

そんな悲痛な災害の中でスポーツ界ではラグビーW杯が沸いた。日本史上初のベスト8位まで進出した。そんな中ホットな話題を提供してくれたのは、感動のボランティア支援であった。

大型台風19号の影響で、開催予定だったラグビーワールドカップ「ナミビア対カナダ」の１戦が、その爪痕が残る岩手・釜石市の「釜石鵜住居（かまいしうすまい）復興スタジアム」での試合は中止となり、その時間にカナダ代表チームの選手やスタッフ、あわせて16人が災害ボランティア活動をしてくれた。台風被害に遭った女性は、「本当に素晴らしいと思いました。こんなところまで、一生懸命やって頂けるなんてすごい事ですよね」と話した。

ラグビーを通して、釜石が世界との絆を、さらに深めた１日となった。

ヨッチャン

葵友の会 広報コーナー

１１月の報告

１１日（月）～１４日（木）
台湾４日間

１５（金）
カラオケ８名の参加

２０日（水）
吉祥寺「鳥良」１０名の参加

１２月の予定

１７日（火）
忘年会　光が丘ホテル

カデンツァ「武蔵野」
２０日（金）
カラオケ　（事務局）

◆編集委員会より
「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。
係員・飯島

メキシコの思い出

原口秀子

174号のつづき

私共が外国に来て何より頼りになる所は大使館の存在です。あの当時は国際情勢も良く、テロなど無かった時代でしたので私共はよく出入りしたものでした。年中行事として、お正月の新春の集い、天長節（天皇誕生日）には祝賀会が行われていました。日系人短期滞在者揃って、大使公邸の立食パーティに出かけていきました。この日ばかりは一張羅の訪問着を着ておめかしして華やかな雰囲気の中、プロが作った日本食の料理に舌鼓を打ったものでした。

私がここメキシコに来て強く感じたことは日系人の功績でした。文化も風習も異なるこの国に開拓者として入植された方々のご苦労はどんなものだったろう！そして二代目三代目のご努力があって、今では日本人の地位が高まり日本から来た私共に好意を持って受け入れて頂けるということです。主人はよく申しておりました、自分達は技術指導者という立場で来ているとはいえ、今はみなさんのお世話になっている身、現地の反感を買って非買運動でもされたら一日だってここにはいられないのだ。よく心得て生活するようにと、ほんとうにお蔭様で日系人の方々にも沢山学ばさせて頂きました。

私にとって初めての海外生活、失敗もハプニングも色々有りましたが、かかわって下さった現地の方々、日系人の皆様のご好意のお蔭様でつゝがなく任務を果たして帰国の途に着くことが出来ました。あれから五〇年、半世紀が経ちました。その後メキシコはどうなっているのだろうと想像しております。

人の話によればオリンピック後は外国の企業の進出で、あの素晴らしい太陽の国も、今はスモッグの国と化して使用人達も工場にかり出され、すっかり近代化され、大変貌しているとのことです。本当にあの時は良かった、私も若かった時代に色々貴重な体験が出来たことを感謝しております

「ぶらり一人旅」

増田義雄

十一月一日に開業した「渋谷スクランブルスクエア」の再開発ビルを七日に見に行った。東急とＪＲ東日本、東京メトロの三社が手掛けたビルで渋谷駅に直結しており、渋谷ヒカリエと渋谷ストリームと合わせて人の流れを変えている様です。渋谷マークシティは東横のれん街や渋谷エクセルホテル、東急が入っており、今月に渋谷フクラスも完成の予定でＧＭＯインターネットグループが入るそうです。七年前に開業した渋谷ヒカリエにはＤＮＡ本社が入っています。

渋谷スクランブルスクエアーの東棟もＩＴ大手のジクシイやサイバーエージェントが入り、渋谷の高層ビルオフィスにはＩＴ企業が集結した感。大手四社は「シブヤビットバレー」プロジェクトを既に発足、渋谷をＩＴ分野の世界的な技術拠点にしようと色々なイベントを開いていく様です。

東棟は大手のオフィスで17階より45階まで、地下2階から14階まで商業施設で食品、ファションや雑貨、レストラン等のテナント二百数十店が入っています。

四十六階～七階の屋上（二百二十米）には渋谷上空の展望施設（シブヤスカイ）があり有料でチケット料金は二千円です。

営業時間は九時から二十三時迄で夜景はどんなに素晴らしいかと思われます。初雪の富士山が大変美しく眺められました。

後に恵比寿に移り、広尾の山種美術館に行って「色で読み解く日本画」「東山魁夷の青・奥田元宋の赤」を鑑賞して来ました。近代、現代の日本画家による、バリエーション豊かな色の世界、美しい色を生み出す絵具の魅力に充分楽しませていただきました。

お陰様で今日も一日楽しく一万二千ニ百歩も歩けて感謝です。

祝・創立十五周年

山村匡子

デイサービス葵創立15周年おめでとうございます。そしてその間一緒に歩いてきた私が、葵で得たリハビリやケア、特に社長から伝授された呼吸法等の知識無しでは、不自由な体になった現在、葵に通える幸せはないと思って感謝しています。

15年はアッという間だった様に思えますが、創立当時のメンバーが片山社長と飯島さんだけになり、初期からの利用者も数える程になった事、その間の経営者やスタッフの経営努力を考えるとやはり長い時間が経過したのだと思います。

H17年3月、私が社長と中村事務長にいざなわれて葵の見学に来た時、その日の利用者は12～13名でした。今でも覚えていますが、談話室の後のベランダへ出る所に本が一杯の本棚が二基、手すりと壁の間にはベッド、トイレ側の壁際には確か真っ赤なソファがあったと思います。今の事務コーナーにはマッサージ用の施術台、その奥は広々としたスペースにテーブルと椅子が二列並び、窓際にはリハビリ用の機械が、窓からの柔らかな光を浴びて輝いていました。その隣はリハビリ用の階段、メドマーは二基、ピアノは今のマット置き場の所だったと思いますが、二台あった自転車が何処だったかは思い出せません。ちなみに、今天井からぶら下がっている白板は自分の足で立っていました。広々としていましたが寒々ではなく、ほんわかとした雰囲気に魅了され、すぐに通所することにしました。

現在、葵が利用者で満杯になり「アキ待ち」と言われる程になったのも、同じような印象からかもしれません。葵が、今の様に利用者で溢れる程になったのは需要が多いこともありますが、当初からの優秀で熱心なスタッフに大きな要因があると思います。

つづく

自画像

ドライバー　菊地さやか

この度、皆様の送迎ドライバーをやらせて頂く事になりました菊池さやかです。

３人の息子と毎日大騒ぎで暮らしています。まだまだ未熟者ですが、利用者の皆様が安心して車に乗っていられる様、安全運転で頑張ります。

古今抄（長期利用者様の紹介）

長沼　てる江
H28年10月13日から通所

皆さんと一緒に歌を歌ったり、体操をする事が楽しいです。いつまでも健康で末永く皆で仲よく明るく楽しく過ごしていきたいと思います。

金子　健
H28年10月13日から通所

葵に通い出して三年になります。デイサービスに通うのは初めてでまごつきました。どういう所かわからなくて不安もありましたが、3年たって慣れてきました。元気に通いたいと思いますので、よろしくお願いします。

加藤　トシ
H28年1月23日から通所

前に犬を飼っていた時は散歩にいったり遊んだりしていました。今は葵で体を動かしています。体操は好きなので続けたいと思っています。

西尾　登志子
H29年1月10日から通所

通い始めて二年が経ちました。葵の食事がおいしくて来るのが楽しみです、家では最近作るのが大変になってきて、買う事は多くなっているので嬉しいです。あとは俳句の会に入っているので、俳句を作る為にネタを探しに歩く楽しみも増えました。皆さんに会えるのが楽しみです